



## 「響灘ビオトープ」が今秋、本格オープン

本田 忠弘



待ちに待った「響灘ビオトープ」が10月上旬に本格オープンします。約48haの広大な敷地を持つ日本最大級のビオトープ(多様な生物が生息する空間)です。

昭和55年、産業廃棄物処理場として埋立て開始。その後長年放置していたところ、湿地帯が自然発生。ヨシの群生ができ、メダカやトンボなどが住みついてビオトープとなりました。現在、鳥類237種、昆虫24種、植物284種、魚類2種が確認されていますが、ほかにもまだまだいます。

中には絶滅危惧種を含む多くの希少種もいます。2009年秋には、北九州高校魚部の井上先生が「チビシジミガ

ムシ(2mmぐらいの小さな水生昆虫)」を愛知・種子島に続き国内3例目の発見をしました。

現在、活動拠点・環境学習施設として、ネイチャーセンターに続いて観察デッキ、湿地観察施設、野鳥観察施設も急ピッチで建設中です。オープン後は是非、皆様ご来場いただき北九州の生物多様性を実感してみてください。

今回は 榊谷忠明 さん、お願いいたします。

## バリ島でエステ三昧

幸田 照子



(前号から続く)

日本人が多いホテル「アヤナリゾート&スパ」を予約して娘と二人で4連泊しました。

空港から車で30分、ホテルの敷地内にあるヴィラは南の島特有の茅葺屋根の戸建てで、各戸にバリ式門扉、塀で囲まれた広い庭には24時間水が注がれているプール、手入れの行き届いた芝、草花が咲き乱れその先には海が見えます。

部屋は空調もよく、広いリビング、広いベッドルーム、大きな化粧台が2つついた16畳はありそうな部屋、ゆっтарいのクローゼット、庭に面して20畳はあるバスルーム、花を浮かべてフラワーバスにしてあります。なんか夢の中にいるようです。

驚くばかりの設備とサービス、スタッフもとても優しくて、現地人のスタッフも簡単な日本語での挨拶をしてくれます。

とても広い敷地を歩き来するには、バギー



カーを呼んで乗せてもらい、まるでお抱え運転手でもいるような感じなのです。

朝食は、ヴィラ専用のレストランに通ってそこのスタッフとも顔なじみになり、帰る日にはこの快適な生活とスタッフともお別れかと、名残惜しくなりません。

4日間連続で通ったエステも、本当に心から癒され、レストランから見た海の景色、咲き乱れる花々に囲まれた幸せな6日間でした。

バリ島には世界遺産もあるのですが、今回は目的が癒しということで、町の様子やお勧めポイントは省きました。「百聞は一見にしかず」といいますが、想像でバリの楽園を感じていただけたら嬉しい限りです。

今、幼馴染のちいちゃんがいたら、もっと嬉しい！